

2013 年 3 月の東北地方の天候

【 3 月の特徴 】

○気温は高く、降水量はかなり少なかった

○上旬は大荒れの天気となった

(1) 2013 年 3 月の概況

短い周期で前線や低気圧、高気圧が交互に通過し、低気圧の通過後は一時的に冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。上旬の後半と中旬の後半に暖気が流入し気温が高くなった。前線や低気圧の影響が平年より弱く、月降水量は東北太平洋側で平年比 28%とかなり少なくなり、3 月としては 1946 年の地域平均の統計開始以来少ない方からの 1 位を記録し、仙台、石巻、大船渡、福島で月降水量の少ない方からの 1 位を記録した。2 日と 10 日は、低気圧が日本海で急速に発達し北日本を通過した影響で、各地で大荒れの天気となり、日最大風速は 2 日に八戸で 3 月の極値を、10 日に白河で年間の極値を更新した。

月平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。月降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。月間日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。月降雪量平年比は東北日本海側で 51%と少なく、東北太平洋側で 13%とかなり少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：期間のはじめと終わりは前線や低気圧が通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。期間の中頃は南から高気圧に覆われた。東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。期間の後半に暖気が流入したため東北太平洋側の気温はかなり高かった。

2 日から 3 日にかけてと 10 日は強い冬型の気圧配置となり、東北日本海側を中心に大雪の所があった。8 日は前線が通過し東北日本海側を中心に大雨の所があった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。

中旬：この期間、短い周期で前線と高気圧が交互に通過した。天気は短い周期で変わったが、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。平年より暖かい空気に覆われたため気温は高くなり、19 日は小名浜で 3 月の日最高気温の高い方からの 1 位を記録した。

11 日は冬型の気圧配置となり青森県と山形県で大雪の所があった。13 日と 18 日は前線が通過し、13 日は東北日本海側で、18 日は東北北部で大雨の所があった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。

下旬：短い周期で高気圧と気圧の谷が交互に通過した。天気は短い周期で変わったが、東北日本海側では曇りの日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。気圧の谷の影響で曇りとなったが、低気圧の移動経路が北緯 50 度付近と北緯 30 度付近で東北地方から離れていたため、雨は降りにくかった。

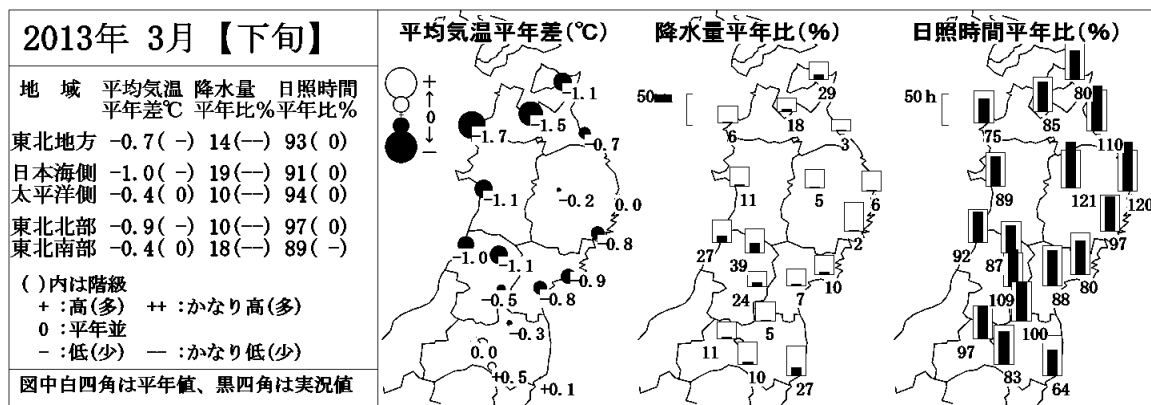
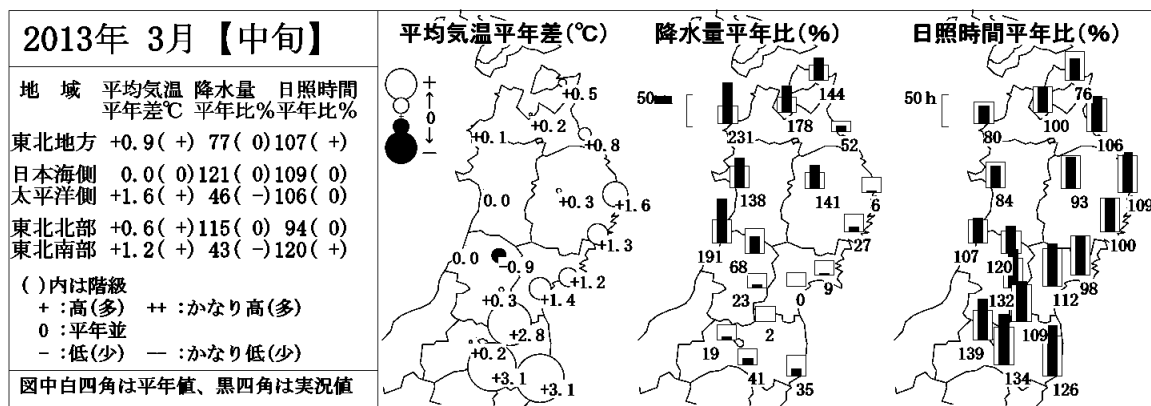
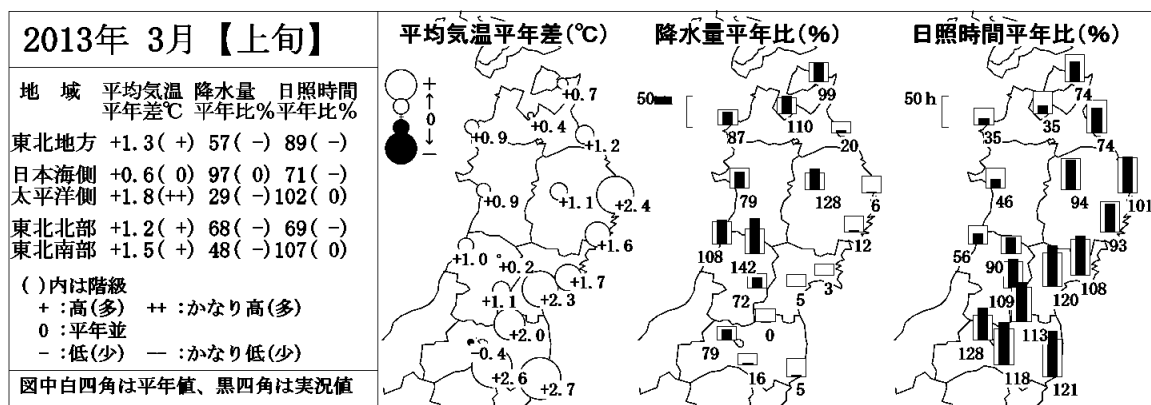
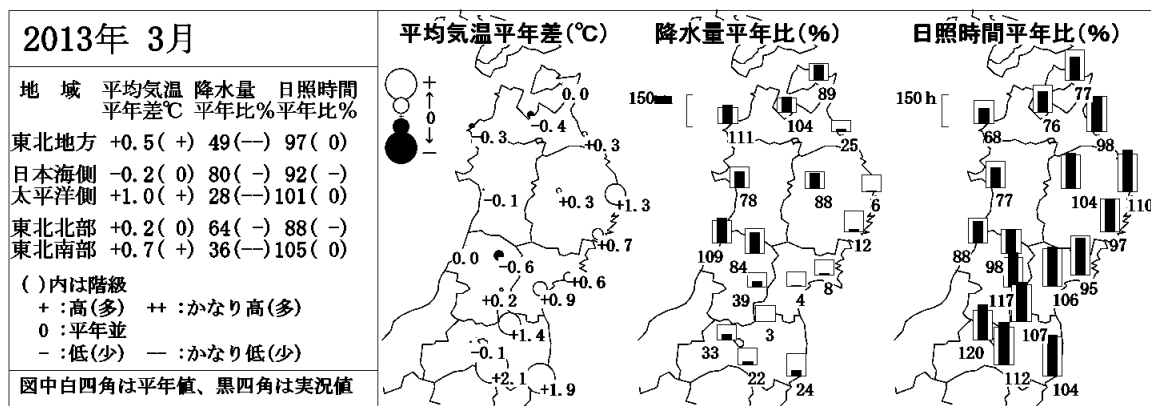
21 日は冬型の気圧配置となり青森県、岩手県、山形県で大雪の所があった。

平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側で平年並。降水量はかなり少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。

(注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。
細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。気温の高い・低い、降水量、日照時間、降雪の深さ
合計の多い・少ないは、特にことわらない限り平年と比較した階級を表します。平年値の統計期間は 1981～
2010 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2013年3月の月・旬平均気温の平年差、降水量・日照時間の平年比



平年値の統計期間は1981～2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2013 年 3 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級	降雪深さ(平年値)		階級	最深積雪(平年値)		階級
	(℃)	(℃)		(mm)	(%)			(h)	(%)		(cm)	(cm)		(cm)	(cm)	
青 森	2.0	(-0.4)	○	73.0	(104)	○	15	99.6	(76)	—*	66	(76)	○	108	(80)	+
深 浦	2.6	(-0.3)	○	86.5	(111)	+	10	74.6	(68)	—*	35	(40)	○	54	(26)	+
む っ	1.8	(0.0)	○	73.0	(89)	○	14	112.6	(77)	—*	47	(89)	—	60	(49)	+
八 戸	3.0	(+0.3)	○	13.0	(25)	—*	4	164.4	(98)	○	13	(47)	—	8	(19)	—
秋 田	3.5	(-0.1)	○	75.0	(78)	—	13	95.4	(77)	—	15	(43)	—	49	(17)	+*
盛 岡	2.5	(+0.3)	○	70.5	(88)	○	10	166.4	(104)	○	9	(46)	—*	26	(21)	○
大 船 渡	4.5	(+0.7)	+	11.5	(12)	—*	3	152.4	(97)	○	—	(13)	—*	—	(6)	—*
宮 古	4.6	(+1.3)	+*	5.0	(6)	—*	3	196.7	(110)	+	1	(40)	—*	1	(19)	—*
仙 台	5.8	(+0.9)	+	3.0	(4)	—*	2	187.4	(106)	+	—	(14)	—*	0	(7)	—*
石 巻	4.7	(+0.6)	+	5.5	(8)	—*	2	175.5	(95)	—	—	(11)	—*	—	(8)	—*
山 形	3.7	(+0.2)	○	27.0	(39)	—*	7	164.0	(117)	+*	21	(57)	—	47	(24)	+
新 庄	1.6	(-0.6)	—	97.0	(84)	—	16	110.2	(98)	○	56	(126)	—	175	(92)	+*
酒 田	4.6	(0.0)	○	116.5	(109)	○	17	103.0	(88)	—	10	(35)	—	9	(13)	○
福 島	6.7	(+1.4)	+*	2.0	(3)	—*	1	186.6	(107)	+	2	(24)	—	2	(9)	—
若 松	3.2	(-0.1)	○	24.0	(33)	—*	10	165.8	(120)	+*	26	(66)	—	64	(28)	+*
白 河	6.0	(+2.1)	+*	17.0	(22)	—*	5	198.6	(112)	+	1	(27)	—*	1	(10)	—*
小 名 浜	8.5	(+1.9)	+*	25.5	(24)	—*	7	192.1	(104)	○		()			()	

(注) 1. 平年値は1981～2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+: 高い (多い) ○: 平年並 -: 低い (少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

かなり高い (多い) かなり低い (少ない)

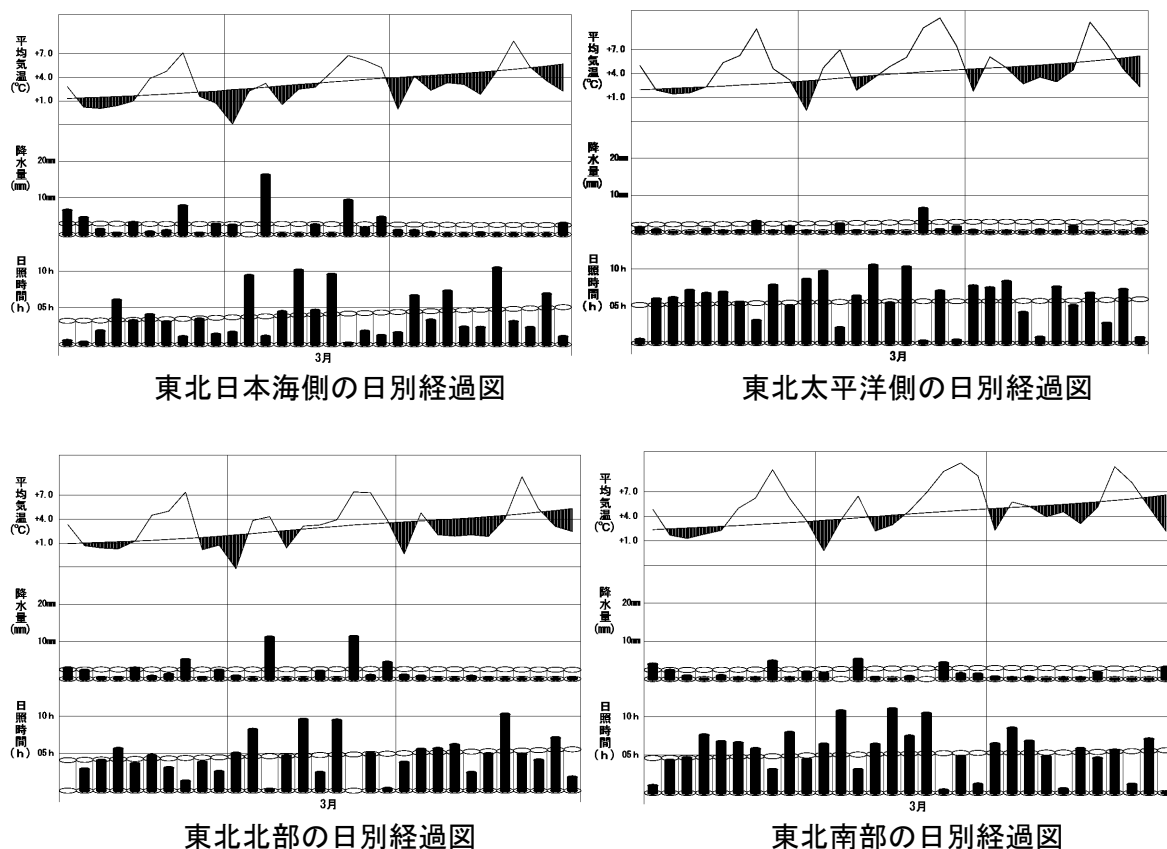
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが、]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2013 年 3 月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）
気温の陰影は平年値より低いことを示す。

(6) 2013 年 3 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 °C	平年差 °C	これまでの最高 °C (西暦年)	開始年	平年値 °C
2	白河	6.0	+2.1	6.1 (2002)	1940	3.9
	小名浜	8.5	+1.9	8.9 (2002)	1911	6.6

月平均気温低い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	大船渡	11.5	12	28.5 (2004)	1964	98.0
	仙台	3.0	4	12.5 (2004)	1927	68.2
	石巻	5.5	8	8.5 (1949)	1888	71.1
	福島	2.0	3	13.0 (2004)	1890	75.6

2	宮古 白河	5.0 17.0	6 22	1.7 (1913) 10.8 (1965)	1883 1940	82.1 78.2
3	若松 八戸 山形 小名浜	24.0 13.0 27.0 25.5	33 25 39 24	22.5 (1976) 5.5 (1998) 17.0 (2004) 14.0 (1973)	1954 1937 1890 1911	71.7 52.0 68.6 107.5

月間日照時間多い方からの順位更新
3位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新
3位以内はなし

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新
3位以内はなし

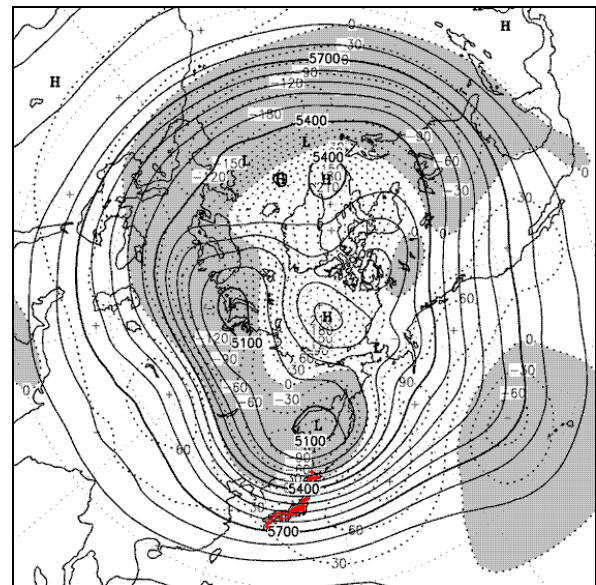
月最深積雪大きい方からの順位更新

順位	地点名	最深積雪 cm	起 日	これまでの最深 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
3	若松	64 =	2	94 (1981)	1954	28

(7) 2013 年 3 月の循環場の特徴

500hPa 高度は、シベリアからオホーツク海にかけて負偏差、その南のユーラシア大陸から日本の東にかけて正偏差となった。北日本付近では南北の気温差が大きく、北緯 45 度付近で偏西風が強かった。低気圧は日本付近を短い周期で通過し、北日本を発達しながら通過したものもあった。一方、亜熱帯ジェット気流が南に偏って流れたため、本州付近の偏西風は平年より弱く、前線や低気圧の影響が平年より弱かった。

東北日本海側は、北日本を通過した低気圧や前線の影響により、寒暖の変動があった。東北太平洋側は、たびたび南から高気圧に覆われたこと、寒冷前線通過前の暖気の流入が強かったことから、気温は高くなった。



2013 年 3 月の平均 500hPa 高度

実線は高度(m)、間隔 60m。点線は偏差(m)、間隔 30m。
陰影部は負偏差（寒気に対応）。